

沖縄・辺野古へ米軍基地おしつけ

スガさん、ムリです

きっぱり断念を!



米シンクタンクも「完成の可能性低い」

安倍前首相が沖縄県民の意向を無視し、新米軍基地建設のために名護市辺野古へ土砂投入を開始して2年になります。しかし投入された土砂はわずか4%。この進捗ならあと50年かかります。

予定地には軟弱地盤や活断層が広がります。沖縄県の試算では、早くも15年、経費は2.5兆円以

上に及びます。専門家は、軟弱地盤を完全に固めることはできず、震度1の地震でも崩壊する危険があると警告します。米国の「戦略国際問題研究所」は、「完成する可能性は低いと思われる」と報告しました。完成の見通しはありません。きっぱり断念すべきです。

遺骨が混じる土で埋め立て!?

沖縄戦は、県民の3人に1人の命を奪いました。戦後、米軍は県民の土地を強奪して基地をつくり、事件・事故を繰り返してきました。だからこそ県民は「もう基地はいらない」と、辺野古の基地建設に反対しているのです。菅首相は官房長官時代、この歴史と県民の思いを訴えた故翁長知事

に対し、「私は戦後生まれなので歴史はわからない。辺野古が唯一」と突き放しました。

菅政権は、沖縄戦の犠牲者の遺骨が多数残る沖縄本島南部から大量の土砂を掘り出し、辺野古の埋め立てに使おうとしています。県民の心を踏みこむ基地建設は、ただちに中止すべきです。

軍拡やめてコロナ対策、暮らしへ

菅政権の新型コロナへの対応はきわめて不十分です。他方で軍拡には、史上最大の5.5兆円超を来年度予算につぎ込もうとしています。日本学術会議任命拒否や敵基地攻撃能力保有など、憲法破壊の「戦争する国づくり」に躍起の菅政権を、みんなの力で退場させましょう。

辺野古新基地建設中止と普天間基地撤去を求める署名にご協力を!

日本平和委員会

2020年12月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>
東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277